

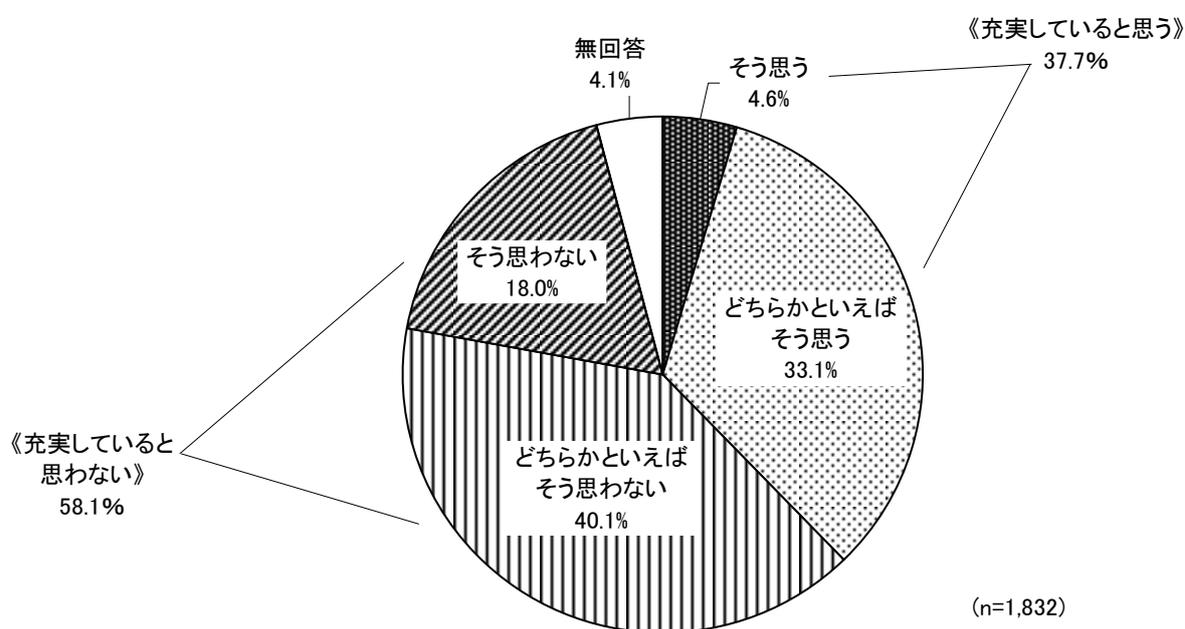
## 14. 多文化共生

### (1) 区の多文化共生社会の実現に向けた施策の充実度

#### ◎ 《充実していると思わない》が6割近く

問35 あなたは、「外国人と日本人が共に暮らす」という視点からみて、区の多文化共生社会の実現に向けた施策が充実していると思いますか。(○は1つ)

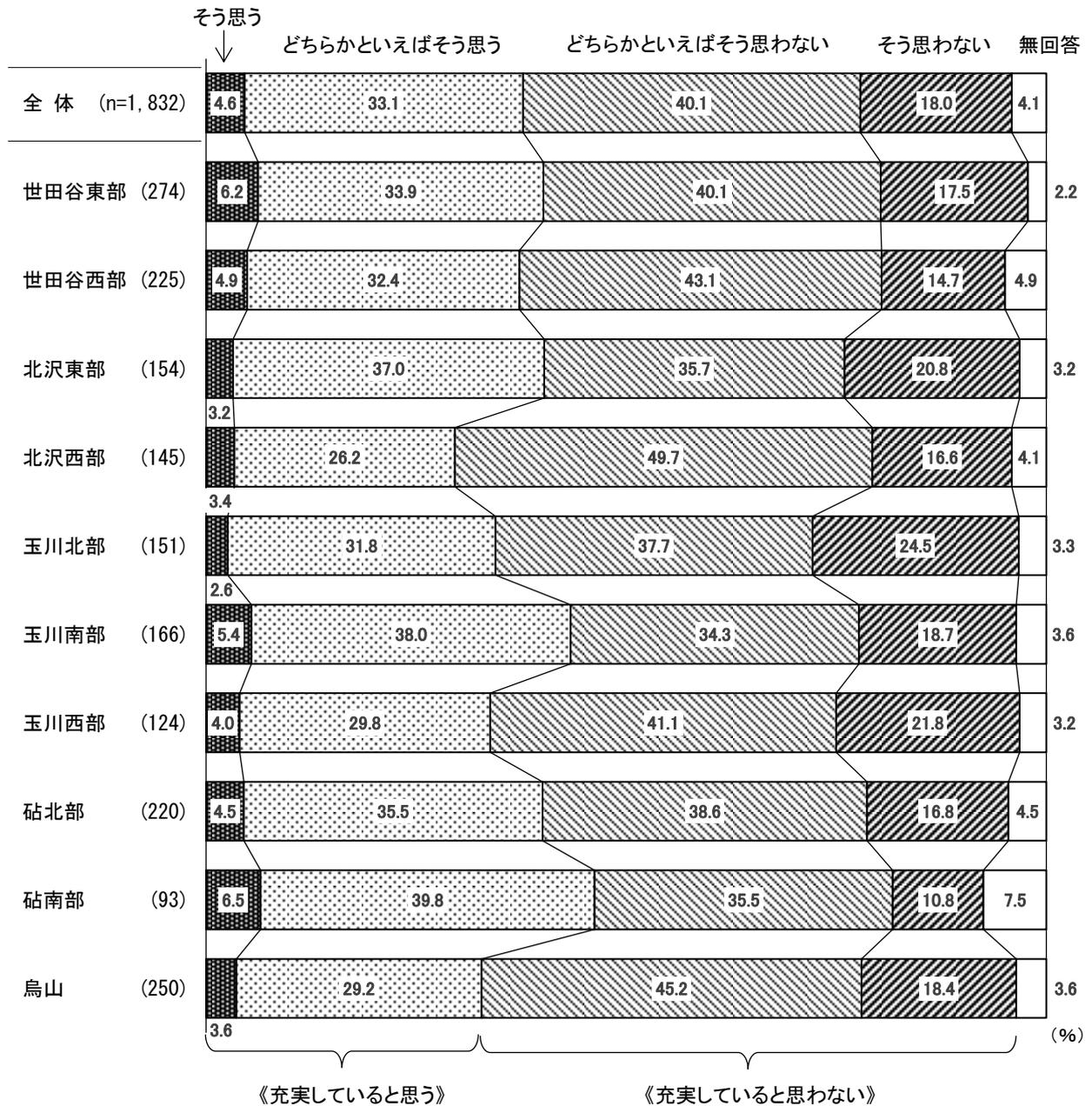
図14-1-1



区の多文化共生社会の実現に向けた施策の充実度を聞いたところ、「どちらかといえばそう思わない」(40.1%)が4割で最も高く、「そう思わない」(18.0%)と合わせた《充実していると思わない》(58.1%)が6割近くとなっている。「どちらかといえばそう思う」(33.1%)と「そう思う」(4.6%)を合わせた《充実していると思う》(37.7%)は4割近くにとどまっている。

(図14-1-1)

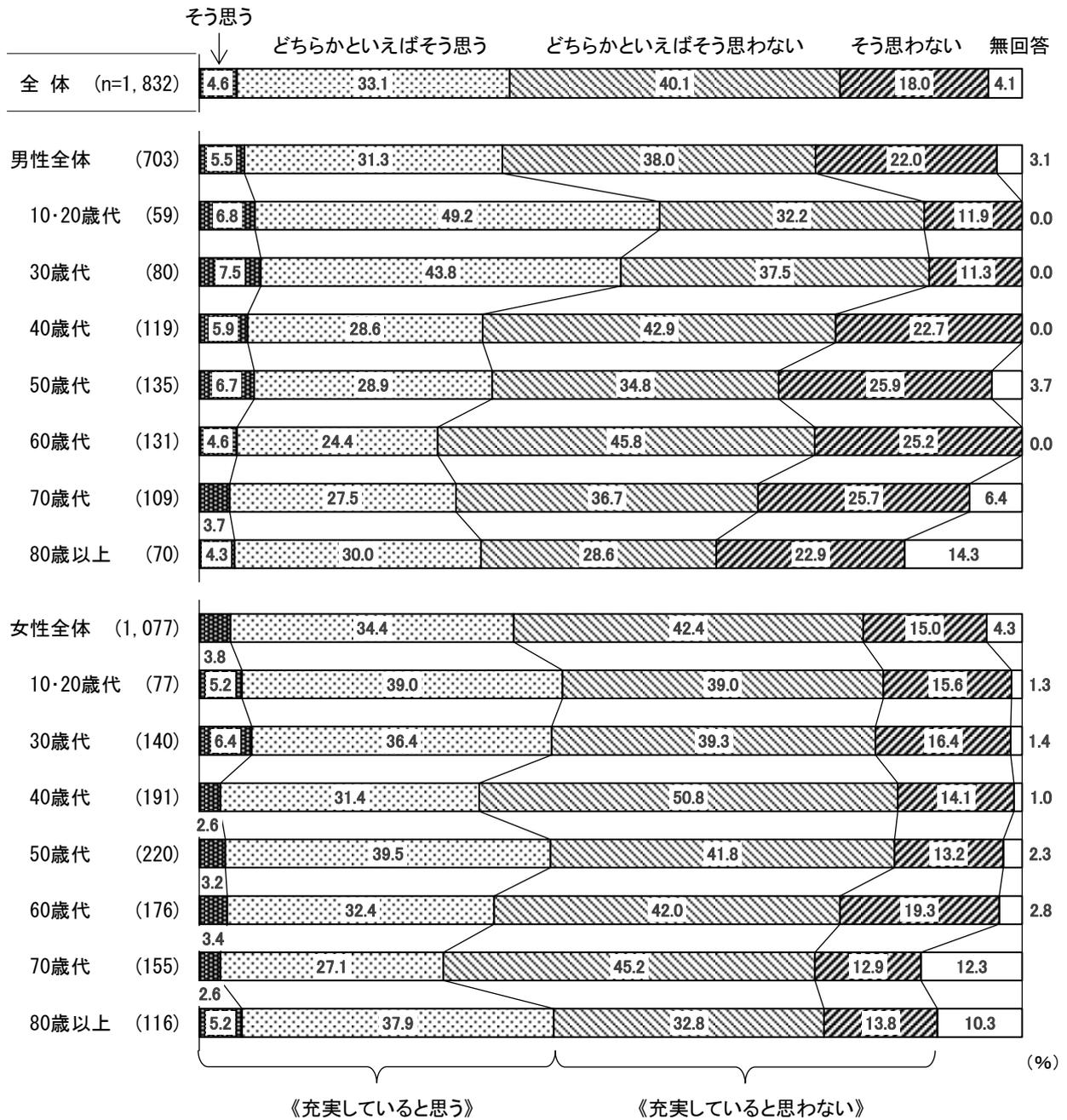
図 1 4 - 1 - 2 区の多文化共生社会の実現に向けた施策の充実度（地域別）



地域別にみると、《充実していると思う》は砧南部で4割半ば、玉川南部で4割を超えている。《充実していると思わない》は北沢西部で6割半ば、烏山、玉川西部、玉川北部で6割を超えている。

(図 1 4 - 1 - 2)

図 1 4 - 1 - 3 区の多文化共生社会の実現に向けた施策の充実度（性・年齢別）



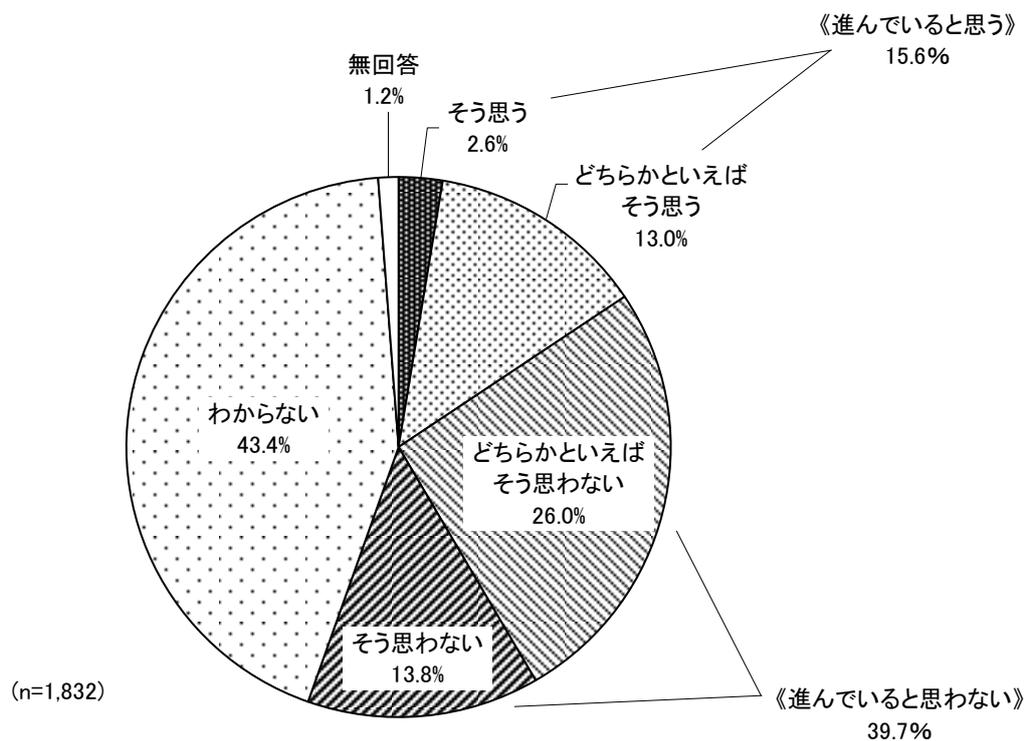
性・年齢別にみると、《充実していると思う》は男性の10・20歳代で5割半ば、男性の30歳代で5割を超えている。《充実していると思わない》は男性の60歳代で7割を超え、男性の40歳代、女性の40歳代で6割半ばとなっている。（図14-1-3）

(2) 外国人の地域活動への参加の進捗状況

◎ 《進んでいると思う》が1割半ば、《進んでいると思わない》が4割

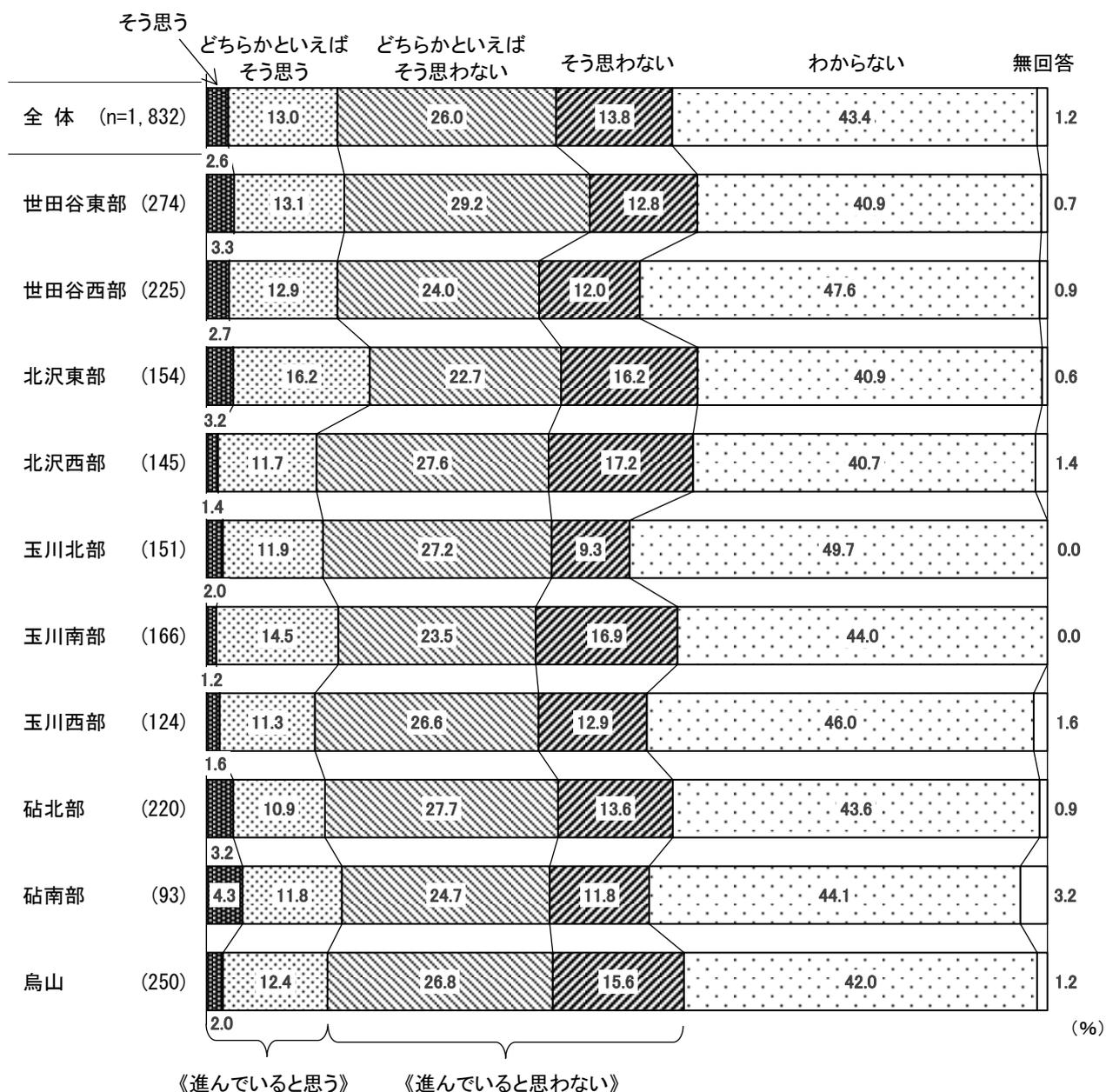
問36 区では、外国人が地域住民の一人として地域社会に参加・活躍できるように、地域のおまつりや防災訓練、ボランティア活動等への参加を促進しています。あなたは、外国人の地域活動への参加が進んでいると思いますか。(〇は1つ)

図14-2-1



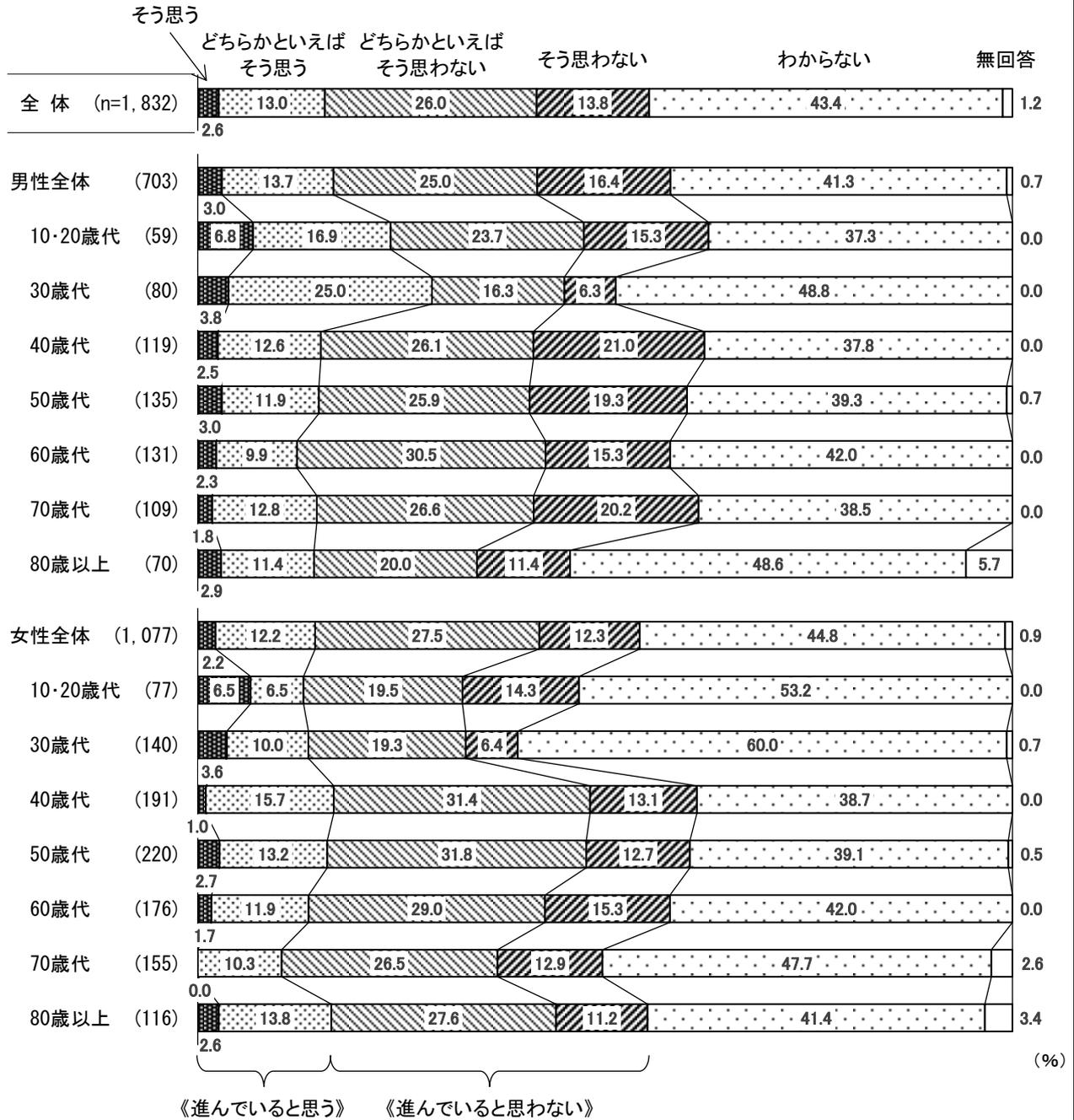
外国人の地域活動への参加が進んでいると思うか聞いたところ、「わからない」(43.4%)が4割を超えて最も高い。「どちらかといえばそう思わない」(26.0%)が2割半ばで、「そう思わない」(13.8%)と合わせた《進んでいると思わない》(39.7%)が4割となっている。「そう思う」(2.6%)と「どちらかといえばそう思う」(13.0%)を合わせた《進んでいると思う》(15.6%)は1割半ばとなっている。(図14-2-1)

図 1 4 - 2 - 2 外国人の地域活動への参加の進捗状況（地域別）



地域別にみると、《進んでいると思う》は北沢東部で2割となっている。《進んでいると思わない》は北沢西部で4割半ば、烏山、世田谷東部、砧北部で4割を超えている。「わからない」は玉川北部で5割となっている。（図14-2-2）

図 1 4 - 2 - 3 外国人の地域活動への参加の進捗状況（性・年齢別）

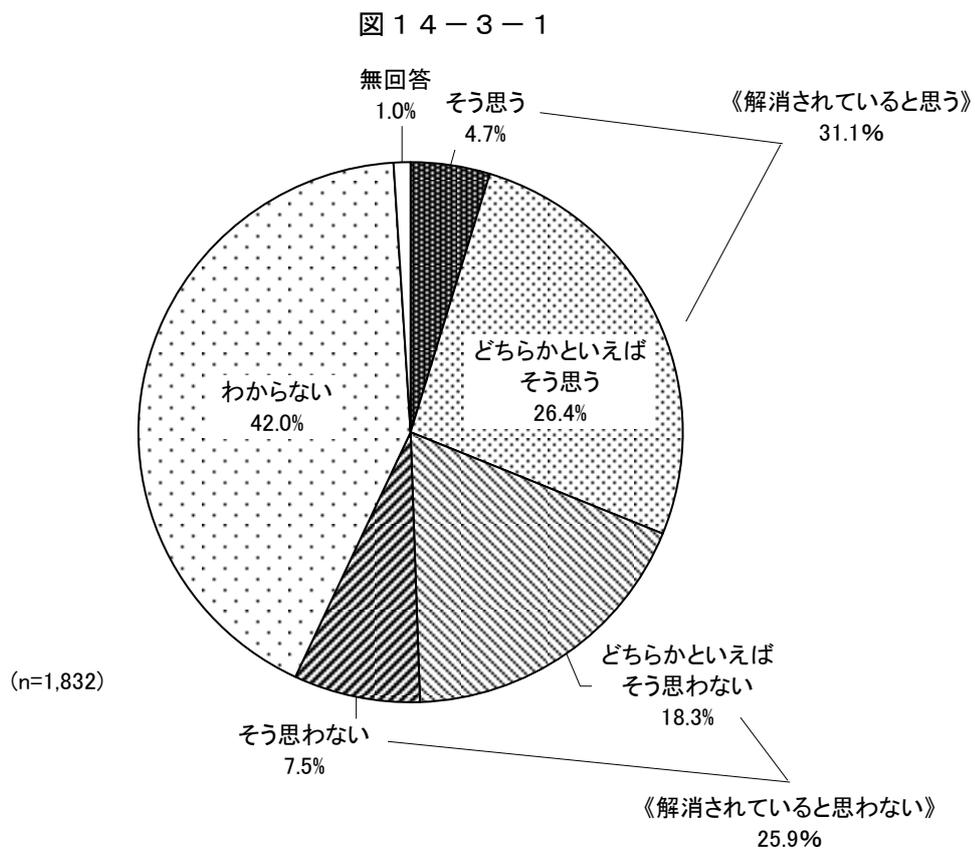


性・年齢別にみると、《進んでいると思う》は男性の30歳代で3割近く、男性の10・20歳代で2割を超えている。《進んでいると思わない》は男性の40歳代と70歳代で5割近く、男性の50歳代と60歳代、女性の40歳代～60歳代で4割半ばとなっている。「わからない」は女性の30歳代で6割、女性の10・20歳代で5割を超えている。（図14-2-3）

### (3) 区内の外国人への誤解・偏見の解消状況

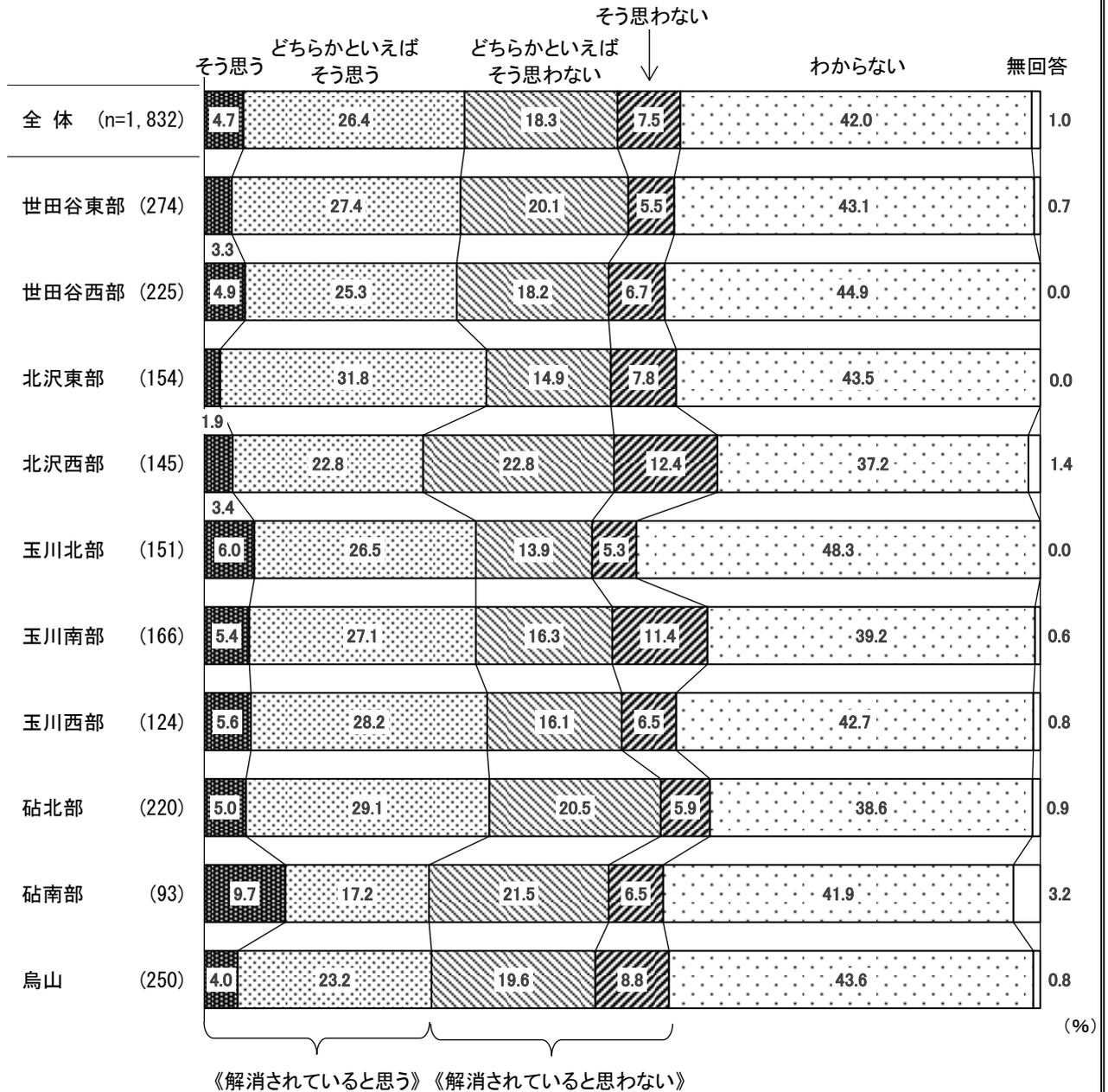
◎ 《解消されていると思う》が3割を超え、《解消されていると思わない》が2割半ば

問37 区では、多様な文化を理解し合える交流イベント等を開催し、区民一人ひとりが互いの文化について理解を深め、誤解や偏見を解消することで、多文化共生社会の実現を目指しています。あなたは、区内において外国人に対する誤解や偏見が解消されていると思いますか。(〇は1つ)



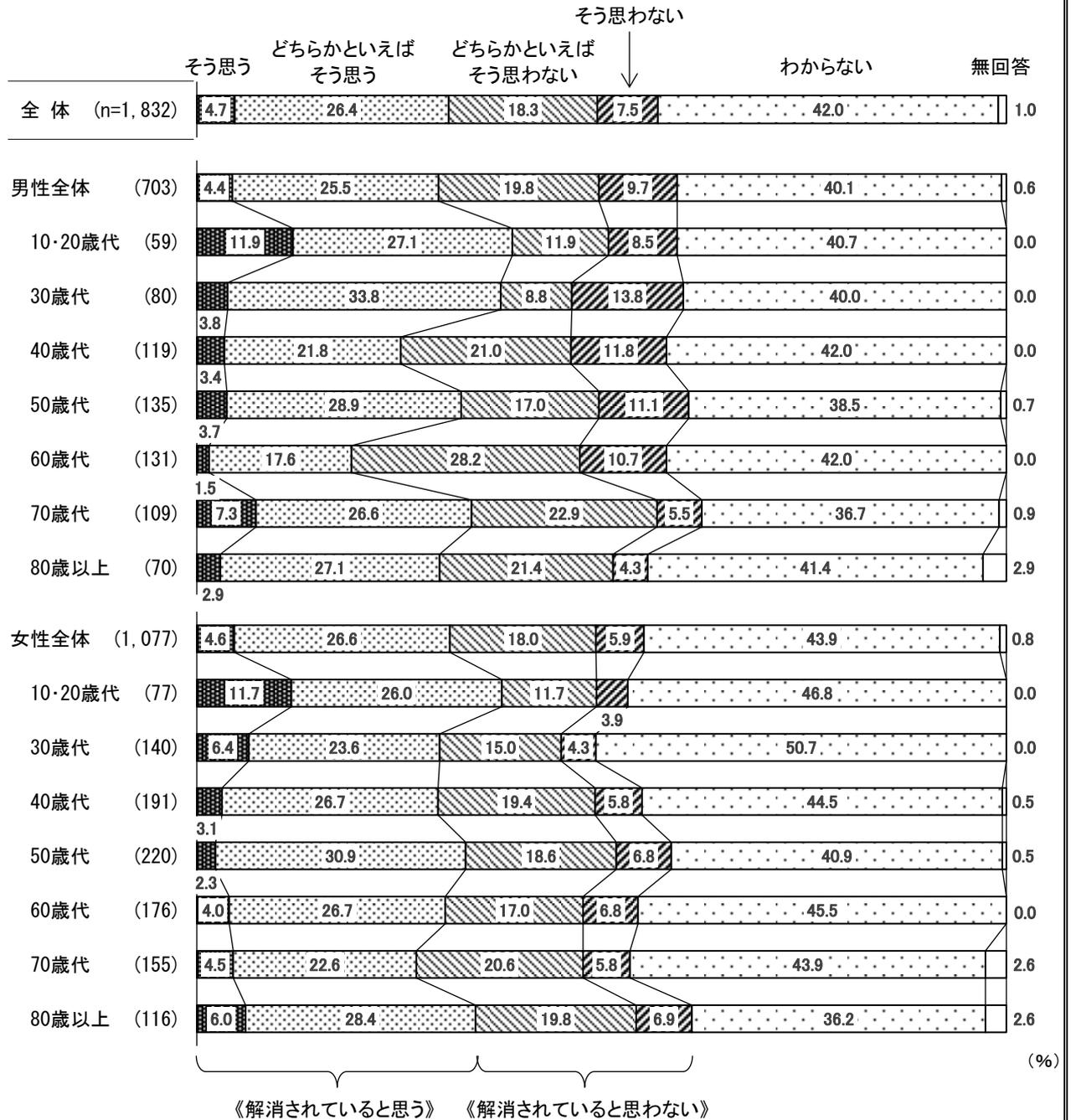
区内の外国人に対する誤解や偏見が解消されていると思うか聞いたところ、「わからない」(42.0%)が4割を超えて最も高い。「どちらかといえばそう思う」(26.4%)が2割半ばで、「そう思う」(4.7%)と合わせた《解消されていると思う》(31.1%)が3割を超えている。「どちらかといえばそう思わない」(18.3%)と「そう思わない」(7.5%)を合わせた《解消されていると思わない》(25.9%)は2割半ばとなっている。(図14-3-1)

図 1 4 - 3 - 2 区内の外国人への誤解・偏見の解消状況（地域別）



地域別にみると、「解消されていると思う」は砧北部で3割半ば、玉川西部、北沢東部、玉川北部、玉川南部で3割を超えている。「解消されていると思わない」は北沢西部で3割半ばとなっている。「わからない」は玉川北部で5割近くとなっている。（図 1 4 - 3 - 2）

図 1 4 - 3 - 3 区内の外国人への誤解・偏見の解消状況（性・年齢別）



性・年齢別にみると、《解消されていると思う》は男性の10・20歳代でほぼ4割、男性の30歳代、女性の10・20歳代で4割近くとなっている。《解消されていると思わない》は男性の60歳代で4割近くとなっている。「わからない」は女性の30歳代でほぼ5割となっている。（図14-3-3）